

# 令和3年度 若年技能者人材育成支援等事業進捗状況

令和3年10月末現在

## 1 地域における技能振興事業

### (1) 技能五輪全国大会の予選の実施

技能五輪全国大会の県代表を選出するための予選会を実施する。

項目	実施計画	進捗状況
① 実施職種	3職種 (レストランサービス、電工、造園)	3職種 (レストランサービス、電工、造園)
② 参加者数	8人	9人 (レストランサービス4人、電工2人、造園3人)

※補足説明

◎今年度の技能五輪全国大会へは8職種15名が出場した。この内の3職種について予選会を実施した。この3職種以外は技能検定試験が予選を兼ねることとなっている。

### (2) 全国技能競技大会派遣支援

若年者ものづくり技能競技大会、技能五輪全国大会の参加選手及び指導者の旅費、工具等の運搬費について援助を行う。

項目	実施計画	進捗状況
● 第16回若年者ものづくり技能競技大会 主催：厚生労働省／中央職業能力開発協会		
① 派遣人数	9人	2人 (電気工事1人、建築大工1人)
② 開催期日	令和3年8月4日～5日	令和3年8月4日～5日
③ 開催場所	愛媛県	愛媛県(愛媛国際貿易センターほか)
④ 入賞状況	電気工事(敢闘賞1人)	
● 第59回技能五輪全国大会 主催：厚生労働省／中央職業能力開発協会		
① 派遣人数	12人	15人(配管2、電工1、左官2、家具1、フラワー装飾4、造園1、レストランサービス2、洋裁2)
② 開催期日	令和3年12月17日～20日	令和3年12月17日～20日
③ 開催場所	東京都	東京都(東京ビッグサイトほか)
④ 入賞状況	洋裁(金賞1人・敢闘賞1人)、レストランサービス(銅賞1人)、フラワー装飾(敢闘賞1人)	

※補足説明

- ◎「若年者ものづくり競技大会」は職業能力開発施設、工業高校等において技能を習得中の若年者（原則20歳以下の未就業者）を対象に毎年開催される。本県からの出場者は年々増加傾向であったが、昨年度は新型コロナの影響で大会が中止となり、今年度は感染の不安から出場を見送る選手も見られた。
- ◎「技能五輪全国大会」は青年技能者（原則23歳以下）の技能レベルの日本一を競う大会で、本県からも入賞者を毎年輩出している。本県からの出場者は令和元年度が17名でこの事業が始った平成25年度以降最も多かった。令和2年度は新型コロナの影響で若干減った（11名）が、今年度は4名増の15名で九州沖縄の中では福岡県（18名）、沖縄県（17名）の次に多い出場者数となっている。
- ◎これらの技能競技大会については県民に広く知っていただく必要がある。技能検定の受検案内や協会機関誌、HP等の掲載による業界団体へのPRを実施しているが、県とも協力して一般県民等へのPRに今後もより一層取り組んでいく。

(3) 各種イベント・ものづくり体験の実施

ものづくりマイスターや熟練技能者による実演やものづくり体験等を通して、技能の大切さや重要性を一般県民等に伝えるためのイベントを開催する。

実施項目	実施計画	進捗状況（予定）
<b>●ものづくりフェスタ</b>		
① 実施時期	令和3年10月～11月	令和4年1月29日(土) ～30日(日)
② 実施会場	イオンモール宮崎	イオンモール宮崎
③ 内容	実演、ものづくり体験等	実演、ものづくり体験等
④ 実施職種	17職種	17職種
⑤ ものづくり体験者数	1,200人	—

※補足説明

- ◎これまで「キッズワークみやざき（令和2年度はおしごと体験教室に名称変更）」と「ものづくりフェスタ」の2つのイベントを実施してきたが（昨年のおしごと体験教室は新型コロナの影響により中止）、今年度は新型コロナの影響により国からの委託料が削減されたため（23.5%減）、やむを得ず「ものづくりフェスタ」のみの開催とした。「キッズワークみやざき」は子どもたちも保護者も楽しみにしており、夏休みの恒例イベントとして定着していただけに大変残念である。
- ◎ものづくりフェスタ（技能まつり・ものづくりフェスタの名称で県、技能士会連合会と共催）は当初9月25日～26日に開催を予定していたが、新型コロナに係るまん延防止等重点措置の適用及び県独自の緊急事態宣言により来年1月に延期した。新型コロナ対策に万全を期すとともに、参加者に満足いただけるようしっかりと準備したい。

#### (4) 熟練技能者による実技指導

ものづくりマイスターの対象外職種（建設系、製造系以外）など「ものづくりマイスター派遣事業」に該当しない職種に対して、熟練技能者を教育訓練機関等へ派遣し、技能検定試験問題を基に実技指導を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
実施企業・学校数	2企業・学校	2社
参加者数	40人	16人

##### ※補足説明

◎昨年度は前期技能検定試験が実施されなかったため予定していた実技指導の申し込みがなかったが、今年度は2件の申請があった。

#### (5) 「地域発!いいもの」応援の実施

地域で行われている「技能振興」、「技能者育成」等の取組を「地域発!いいもの」として選定し周知する。当コーナーは、本事業の周知、募集、応募受付、中央センターへの申請書の送付等を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
周知・募集方法	宮崎県コーナーのホームページ掲載等	宮崎県コーナーのホームページ及び協会機関誌への掲載、県・市町村への周知依頼文書発送を行ったが応募はまだない。

##### ※補足説明

◎中央職業能力開発協会が募集・審査・選定を行い、各県コーナーで周知・広報・受付等を行う。令和2年度までに23都道府県で41件が選定された。中央と連携して今後も周知・広報に努める。

#### (6) グッドスキルマーク事業の実施

一級技能士等が技能を駆使した製品等に表示する「グッドスキルマーク」の募集に係る周知、応募書類の受付及び中央センターへの送付等を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
周知・募集方法	宮崎県コーナーのホームページ掲載等	宮崎県コーナーのホームページ・協会機関誌への掲載及び県内各技能士会に周知した結果、「手作業で彫り上げる印章・表札」について1件申請があった。

##### ※補足説明

◎中央職業能力開発協会が募集・審査・認定を行い、各県コーナーで周知・広報・受付等を行う。令和2年度までに全国で271製品が認定された。県内からは量製作が2件認定されている。今後も中央協会と連携して周知・広報に努める。

- (7) 「卓越した技能者(現代の名工)の表彰」被表彰者紹介コンテンツの作成支援  
中央技能振興センターが実施する被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツ作成を支援するため、被表彰者の取材を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
被表彰者の取材を実施	令和2年度及び令和3年度表彰受賞者について、推薦者の県を經由し、取材及び紹介コンテンツの作成を行う。	令和2年度及び令和3年度については、当県から表彰者の推薦はなかった。

※補足説明

- ◎昨年度から追加された事業。各県コーナーが取材を行い、中央職業能力開発協会HP「技のとびら」に掲載される。昨年は綾町の熊須氏(碁盤・将棋盤製造工)の取材を行い、技のとびらに掲載中。

## 2 ものづくりマイスター等の認定等事業

### (1) ものづくりマイスター等の認定事業

宮崎県内の熟練技能者等を「ものづくりマイスター・ITマスター・テックマイスター」として認定するため広報、募集、相談等を行う。

実施項目	目標値	進捗状況
ものづくりマイスター・ITマスター・テックマイスターの認定者数	ものづくりマイスター 19人 ITマスター5人 テックマイスター1人	21人(9職種) ※この後、ITマスターを3人追加認定

※補足説明

- ◎訓練コーディネーターが機会ある毎にマイスターの掘り起こしを行っている。過去3年間、ものづくりマイスターの活動実績がない方のうち、今後、活動の意思のない8名については認定解除となったが、新たに21名の認定を行った。本県のものづくりマイスター認定数は九州沖縄では福岡県に次いで2番目。マイスター等の活躍の場を増やすためにも、企業の紹介等委員の皆さまにもご協力もお願いしたい(特にITマスター、テックマイスター)。必要があれば当協会職員が訪問して事業内容の説明を行います。

### (2) ものづくりマイスター等への指導技法講習

認定されたものづくりマイスター等が指導を効率的、効果的に実施するための講習会を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
指導技法講習の実施	7月・9月・11月・1月 (計4回)	6月:1人 10月(2回):11人 (計3回)

※補足説明

- ◎マイスターが実技指導を行うに当たっての質の向上につながる重要な講習である。

### 3 ものづくりマイスター等の活用事業

事業目標（国が示した目標数）	進捗状況
・参加者満足度	90%以上 → アンケートでは全員が満足と回答
・マイスター活動数（延べ受講者数）	4,236人日以上 → 2,441人日(57.6%)
・ITマスター活動数（延べ受講者数）	271人日以上 → 28人日(10.3%)
・テックマイスター活動数（延べ受講者数）	7人日以上 → 0人日(0.0%)

※ 予算削減に伴い、国が示すマイスター活動目標は引き下げられた。

R2：5,625人日 → R3：4,236人日

逆に、ITマスターの活動目標は引き上げられ（R2：60人日→R3：271人日）、テックマイスターの活動目標が新たに設定された。なお、ITマスターとテックマイスターの目標値は今年8月に示されたものであり、この事業の当初計画には反映されていない。

#### (1) 「ものづくりマイスター」派遣による実技指導

ものづくりマイスターを中小企業、教育訓練機関、団体等へ派遣し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にした実技指導を行い技能向上を図る。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣日数（受講者数）		
(1) 企業・団体	112日（336人）	71日（324人）
(2) 高校以上・職業能力開発施設	175日（1,750人）	61日（540人）

※補足説明

◎昨年度は新型コロナの影響により前期技能検定試験が中止となり、この講習も中止となったことから、計画を大きく下回った。今年度は技能検定試験が予定どおり実施されているので、受講申込が戻ってきている。今年度後半にも企業・団体で33人、高校で982人の指導を予定している。アンケートによると丁寧な指導で受講者の満足度は高い。

#### (2) 学校の授業等への講師派遣

小中学校からの要請に基づいて、学校の授業へものづくりマイスター等を派遣し、ものづくりの魅力を伝える講義やものづくり体験教室を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣校数・受講者数		
(1) 講師派遣の学校数	50校	23校
(2) 参加者数	2,000人	1,469人

※補足説明

◎実施した学校においてはこの事業に対する満足度は非常に高い。先生同士の口コミ（紹介）で広がり、今年度はこれまでで最も多い126校から派遣希望があった。コロナ禍にあっても派遣を希望する学校は多い。9月は新型コロナに係るまん延防止措置等重点措置の適用及び県独自の緊急事態宣言により6校から中止の申し入れがあったが、最終的には計画を上回る実績を見込んでいる。

### (3) 学校の教師等を対象とした「ものづくりの魅力」講座等への講師派遣

小中学校の教師及び保護者が「ものづくり」に対する理解を深めてもらうために、教師及び保護者を対象に「ものづくりの魅力」を伝えるための講義及びものづくり体験等を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣校数・受講者数		
(1) 教師	50校(100人)	23校(97人)
(2) 保護者	10校(50人)	5校(11人)

#### ※補足説明

◎小中学生の将来の就業に大きく影響する教師、保護者にも「ものづくりの魅力」を伝え、理解を深めてもらうため、ものづくり体験への参加を促していく。保護者が参加しやすい日曜参観を利用している。

### (4) 「ITマスター」派遣による実技指導

小・中学校の生徒を対象に、情報技術に関する興味を喚起するとともに、情報技術を使いこなす職業能力の付与が実現できるよう、ITマスターによる講義、実技体験を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 派遣校数・受講者数	3校	2校
(1) 講師派遣の学校数		6/11 日南市立吾田小 7/16 宮崎市立東大宮小
(2) 参加者数	60人	28人

#### ※補足説明

◎新型コロナの影響により1校が中止となった。年度後半に2校で実施予定。

### (5) その他若者に対する各種事業への支援

地域サポートステーション及び若者の雇用型訓練を実施している事業所等からものづくりマイスターの派遣要請等があった場合に支援を行う。

現在のところ、事業所等からの派遣要請等はない。

#### 4 連携会議

宮崎県、宮崎労働局、経済団体、業界団体等による連携会議を設置し、ものづくりマイスターの派遣や技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の方針決定、年末に当年度の事業実施状況等の報告を行う。

実施項目	実施計画	進捗状況
1 開催時期	第1回 令和3年5月～6月 第2回 令和3年11月～12月	第1回 令和3年6月8日実施 第2回 令和3年12月23日実施
2 構成メンバー	宮崎労働局、宮崎県商工観光労働部、宮崎県教育委員会、宮崎県高等学校教育研究会工業部会、宮崎県中小企業団体中央会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部、宮崎県工業会、宮崎県技能士会連合会	宮崎労働局、宮崎県商工観光労働部、宮崎県教育委員会、宮崎県高等学校教育研究会工業部会、宮崎県中小企業団体中央会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部、宮崎県工業会、宮崎県技能士会連合会

#### 5 今年度進捗状況まとめ、今後の課題

厚生労働省からの委託事業である本事業は新型コロナの影響により財政状況が厳しく、今年度は委託契約額が大幅に引き下げられた(23.5%減)。このため、ものづくり体験イベントを1つ減らすとともに、その他の事業についてもそれぞれの事業予算を少しずつ削減しながら実施している。

ただし、事業の中核と位置づけられている「ものづくりマイスター」の取組については、できるだけ予算を確保し、これまでと同規模で実施できるよう努力している。マイスターが派遣された企業・学校の担当者や受講者からは高い評価を得ており、このような評価の背景にはこれまで地道に且つ確実に事業運営を重ねてきた成果があると考えており、今後も力を入れていきたい。

事業実施に関しては今年度も新型コロナウイルスの影響を受けており、感染の状況により事業の一部中止や延期を余儀なくされている。コロナ対策や実施時期などについて企業や学校と調整を図りながら、当初計画を達成できるよう進めていきたい。

来年度の本事業予算についてもさらに引き下げられる見込みであり、より一層厳しい事業運営となることから、少ない予算で効果的、効率的に実施できるような工夫が必要である。

また、デジタル社会の進展から、ITマスターとテックマイスターの確保及びこれらの者による派遣指導等にも注力しなければならない。